

平成29年10月22日執行

# 鉾田市長選挙公報

鉾田市長選挙管理委員会

## 市民が主役!

寄りそうまちづくりのための構想が「いっぱい」

## 6つの市政基本方針

### ① 徹底した行政改革

- 市長の退職金(1期ごとに1,639万円)を9割カット(※0円は法律上不可)
- 旧町村ごとに「地域相談課」を設立し、地域に寄り添う体制

### ② 安心の子育て

- 妊娠、出産、子育てを統括して支援できるシステムづくり
- 給食費の軽減、スクールバス料金の無料化

### ③ 頼れる福祉

- 活躍できるボランティア活動や居場所づくりと活動拠点整備
- 健康体操やスポーツ大会の開催を通して健康寿命の延伸

### ④ 便利なインフラ

- 駅周辺の市街地活性化プロジェクトを市民参画型にて推進
- 鉾田(箕輪地区)から神栖市区間の大動脈形成の実現

### ⑤ 活気ある地域

- 地元本社優先の入札制度改革、雇用促進をする企業の誘致
- 空き店舗を利用したベンチャー支援のためのオフィス開設

### ⑥ 誇れるまち

- 安全・安心への先進的な取り組みを行う農家への助成
- 鹿島灘を利用したサーフィン大会開催、駐車場の整備

CHANGE HOKOTA!  
チェンジ鉾田

ほこたが大好き!!



「施設建設の賛否を問う住民投票条例」制定否決の結果を受け、今こそ民意を無視した市政と決別し、自らが先頭に立ち「市民が主役!」の市政を実現しようと強く強く感じました。鉾田市は産業や観光についてはまだまだ多くの課題を抱えています。市長自ら広告塔となり、「鉾田に住んでいてよかった」「鉾田に住みたいな」と感じてもらえるまちにしたい。そんな風に鉾田を誇りに思えるようなまちを一緒につくりたいと感じ、鉾田市長を目指しています。本気で変えなくてはならない。だから泥くさく、人間くさい私ですが、実行力をもって取り組んでいきたい。どうかみなさまのお力を貸してください。

昭和30年 鉾田市(当時の大洋村)生まれ。現在61歳。昭和46年3月 大洋村立大洋中学校卒業。昭和49年3月 茨城県立鉾田第一高等学校卒業。昭和53年3月 亜細亜大学法学部卒業。昭和54年9月 鹿行広域市町村圏事務組合 消防本部職員採用。平成27年3月 鹿行広域市町村圏消防本部 鉾田消防署長を早期退職し、鉾田市議会選に出馬、当選



きしだかずお 61歳  
岸田 一夫

現在の(仮称)市民交流館 建設計画は白紙撤回

※詳しい政策はWebまたはFacebookで!! | 岸田一夫後援会事務所/TEL.0291-33-6650 | kishidakazuo.com | 岸田一夫



たぐち たくとし  
田口きよのり

国や県の人脈・ネットワークを生かして 鉾田市の希望ある未来を創ります。

### ① 教育・文化の促進

- 田口きよのり 3つの約束
- 学校の統廃合に関わる跡地利用促進
- 保護者のネットワーク作り
- スクールバスの負担額の軽減
- 高齢者の交通手段の確保
- 生涯教育・世代間交流の場をつくる
- 子供の教育支援・教育環境の整備

### ② 産業振興

- 農業振興(ブランドアップ、販路拡大)
- 工業振興(企業誘致、鹿島コンビナート企業との連携強化)
- 商業振興(地域内消費を拡大させるための「鉾スタイル」の確立)
- 企業誘致による雇用創出
- 産官学の連携による地域活性化を推進
- 道路や排水等インフラ整備を国や県と連携し拡充していく

### ③ 安心と希望を創るまちづくり

- 未来を見据えた定住化対策・後継者対策
- 行政と連携した地域医療推進
- 防災に強いまちづくり
- 鉾田市を地域創生のモデル都市として発信
- 公平な行政運営
- 自主財源の確保

### プロフィール

- 昭和五十年七月七日 生まれ(四十一歳)
- 鉾田一高 卒業
- 常磐大学 国際学部 卒業
- J A茨城旭村 産農情報支援センター 勤務
- 筑波大学大学院 修士課程 環境科学研究科修了(環境科学修士)
- 筑波大学大学院 博士課程 生命環境科学研究科(満期退学)
- 衆議院議員 額賀 福志郎 元秘書

# 投票日 10月22日(日) 午前7時から 午後6時まで

## 鉾田市長選挙の投票日です

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

### 期日前投票・不在者投票受付日付

期間：10月16日(月)～10月21日(土)

時間：午前8時30分～午後8時

場所：鉾田市役所、藤沼区公民館、ふる里見聞館、旭地区学習等供用施設

※いずれかの会場へ、入場券(切り取り後)を持ってお越しください。  
紛失または届かなかったときは投票所係員に申し出てください。

平成29年10月22日執行

# 鉾田市長選挙公報

鉾田市長選挙管理委員会

## 安心・安全なまちづくり 5つの公約



# 小川彦

### 1 市内に20数箇所、 確立された避難所の設置 (現在/避難所6箇所、避難場所41箇所)

東日本大震災では、多数の被災者が避難所生活を余儀なくされたことを踏まえ、旧小学校区の体育館を活用し、耐震性貯水槽などを備えた避難所の設置を行います。

### 3 スクールバスの無償化 少子化が急速に進むなか、保護者の負担軽減を図るため、スクールバスの無償化を行います。

### 4 巡回バスの運行 高齢者に対し、病院への通院や買い物等の手助けを行うため、巡回バスの充実を図ります。

### 2 こども・女性支援課の設置 (スタッフはすべて女性)

女性が抱えている問題等を解決するため、女性スタッフによる相談窓口として「こども・女性支援課」を設置し充実を図ります。

### 5 市民参加型予算の導入 2億円を財源として、地域住民のニーズと意向を反映し、自治体づくりに参加出来るよう、旧20小学校区に一千万円を配分し、直接参加による住民自治の機会を提供します。

## 4つの「未来につながる鉾田市」を創ります。

- 1 未来につながる 豊かさ
- 2 未来につながる 夢・希望
- 3 未来につながる 人材育成
- 4 未来につながる 安心安全



- 鉾田で女性が産み育てる環境を充実させます
- 行政と市民の協働による子育て支援を更に充実させます
- 農業の更なるブランディングで全国に名だたる農産物生産地としての地位を確立します
- 高齢者の健康な生活を維持するための様々な施策を講じ健康寿命の日本一を目指します
- 旧町村間の連絡道路を整備して延長します



- 鉾田市民の心と心の対話を重視して融和をはかります
- 家をつなぐこと(農家の継承、結婚、出産、養子縁組、婚活等)を強力に推進します
- 廃校になった空き校舎を利用して企業などに再利用、開設・助成を行います
- サテライトオフィスなどITを活用したテレワークを推進し働き方改革を推進します
- 鉾田市の魅力を再発掘し海と湖を活用して新しい観光資源をつくり地域の活性化を図ります



- 女性活躍社会を強力に推進します
- 深刻な産婦人科医不足を抜本的に解消するため、関係各面の協力を得て、あらゆる手段を講じます
- 子供を産み育てやすい鉾田市の実現に向け、保育園・幼稚園・こども園や「保育ママ」の充実を図ります
- 就学前教育を推進します
- 子育て世代の医療費や教育費などの負担軽減に全力で取り組みます



- スクールバスの無料化を実現します
- 教育を受けた人たちが安心して生きがいをもって働ける企業を誘致します
- 鉾田市助け合いコミュニティ運動を推進します
- 地域の力を高め防災・防犯・保育交通弱者対策などに全力で取り組みます
- がんの早期発見を推進します



公式Facebook  
「かたばみ和彦」  
で検索



# かたばみ和彦

51 歳

### かたばみ和彦プロフィール

●昭和41年 鉾田市安房生まれ(51歳) ●昭和60年 鉾田一高卒 ●平成2年 筑波大学第一学群社会学類卒 ●衆議院議員額賀福志郎秘書を経て平成4年一修館セミナー創設、塾長として現在に至る ●平成15年 鉾田町議会議員一期 ●平成19年 鉾田市議会議員一期 家族 妻、一男二女

## 投票日 10月22日(日) 午前7時から 午後6時まで

### 鉾田市長選挙の投票日です

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

### 期日前投票・不在者投票受付日付

期間：10月16日(月)～10月21日(土)

時間：午前8時30分～午後8時

場所：鉾田市役所、藤沼区公民館、ふる里見聞館、旭地区学習等供用施設

※いずれかの会場へ、入場券(切り取り後)を持ってお越しください。  
紛失または届かなかったときは投票所係員に申し出てください。